

# 厚木基地をめぐる問題と最近の主な動向



空母艦載機F/A-18スーパーホーネット

厚木基地が所在することにより、市民生活へさまざまな影響が生じています。昨年2月には艦載機による部品落下事故があり、同年5月には厚木基地での離着陸訓練が実施されました。今号では、航空機騒音と市の要請活動、厚木基地に関する最近の主な動向について紹介します。

## 厚木基地をめぐる問題と市の要請活動

### 空母艦載機と厚木基地周辺の騒音被害

厚木基地を拠点として飛行活動を繰り返す航空機の騒音被害に、大和市民は長年にわたって悩まされています。主にこの航空機騒音は、横須賀を事実上の母港とする米空母ジョージ・ワシントン



空母ジョージ・ワシントン(米海軍ウェブサイトより) 住宅密集地に位置する厚木基地

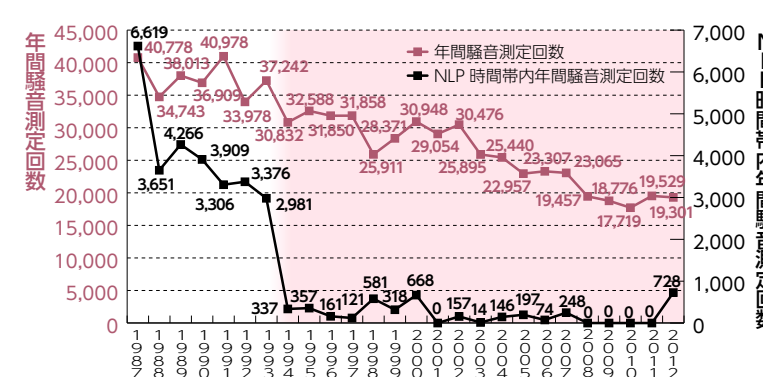
の艦載機によるものです。通常、同空母が横須賀に入港する数日前になると、艦載機が厚木基地に飛来します。また、空母が航海のため横須賀を出港すると、艦載機は数日の間に海上の空母に向かいます。空母の入港期間中には、艦載機は厚木基地を拠点に飛行活動を繰り返し、こうした

飛行が市民に騒音被害をもたらします。また、空母の出港直前には地上の滑走路の一部を空母の甲板に見立てた離着陸訓練が実施されます。そのうち夜間に実施されるものがNLP(夜間連続離着陸訓練)と呼ばれます。この離着陸訓練は1993(平成5)年以降そのほとんどが硫黄島で実施され、2007(同19)年を最後に厚木基地では実施されていませんでした。しかし、昨年5月22日から24日の間、市の再三の中止要請にもかかわらず、離着陸訓練が厚木基地で実施されました。市ではこれまでも日米の関係機関に対し、この離着陸訓練を決して厚木基地で実施しないよう強く求めてきました。このような飛行などにより再び市民生活に影響を与えることがないよう、市はあらゆる機会をとらえて国や米軍に強く働きかけていきます。



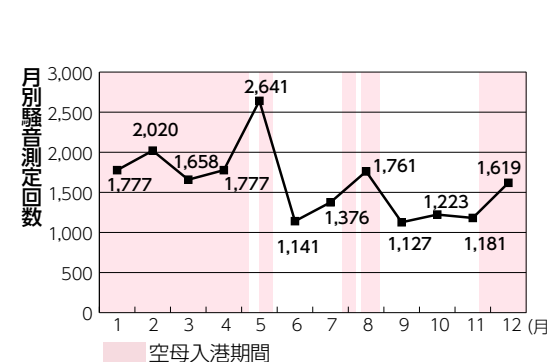
硫黄島

年間騒音測定回数とNLP時間帯内の測定回数の推移



※騒音測定回数は滑走路北約1kmの住宅地における70デシベル以上、5秒以上の継続音の回数です。  
※2012年のNLP時間帯内年間騒音測定回数は、日中時間帯内の測定回数も含まれます。

昨年一年間の騒音測定回数と空母入港状況



## 平成24年の主な要請活動

とき	内容	要請者
2月 9日	米海軍空母艦載機からの部品落下について	大和市長
3月29日	EA-6Bプラウラーのテスト飛行について	大和市長
4月24日	空母ジョージ・ワシントン艦載機の着陸訓練について	大和市長
5月22日	空母ジョージ・ワシントン艦載機の着陸訓練について	大和市長
5月23日	着陸訓練の即時中止について	大和市長
5月30日	住宅防音事業について	大和市 基地対策協議会
	厚木基地における空母艦載機等の飛行について	大和市長
7月26日	空母艦載機による飛行等について	大和市長
8月16日	米軍機の部品落下事故に関する事故調査の報告に関し、日米合同委員会において延期の申し入れがなされたことについて	大和市長
8月20日	厚木基地の早期返還と基地対策の抜本的改善について	大和市 基地対策協議会
10月18日	厚木基地における米空母艦載機の夜間連続離着陸訓練による航空機騒音の解消等に関する要請	厚木基地 騒音対策協議会
11月26日	米軍人による公然わいせつ事件について	神奈川県基地関係 県市連絡協議会
12月 4日	米軍人等の綱紀粛正等について	大和市長

## 厚木基地に関する大和市の主な要請活動

市では、厚木基地のさまざまな問題に対して、県や基地周辺市などと連携しながら、国や米軍に対して要請活動などを実施しています。また、市民、議会、行政の代表者で構成される大和市基地対策協議会(会長・大木哲大和

市長)においても、要請活動を実施しています。左表は昨年の主な要請活動の一覧です。昨年は、米軍機の部品落下事故や離着陸訓練、米兵による事件など多岐にわたり要請活動を実施しました。また、厚木基地問題にかかわる市の取り組みについては、市のホームページに掲載し、随時更新しています。

## 最近の主な動向

### 厚木基地の空母艦載機移駐について緊急要請を実施

2006(平成18)年に、日米両政府が在日米軍再編に関して合意した再編実施のための日米のロードマップ」が発表されました。この中で、厚木基地の空母艦載機についてはF/A18スーパーホーネットなど計59機が、2014(同26)年までに岩国基地に移駐するとされています。

しかし本年1月、防衛省から厚木基地の空母艦載機移駐が3年程度延期される見込みであることが発表されました。これを受け、2月5日、県と本市を含む厚木基地周辺9市で構成される厚木基地騒音対策協議会は、防衛省と外務省を訪れ、当初の計画どおり2014年までに移駐を完了させることを求める緊急要請を実施しました。



防衛省で左藤政務官(右)に対して2014年までの移駐完了を求める大木市長(手前)

### 次期固定翼哨戒機P-1の厚木基地への配備に関して防衛省より説明

国は、海上自衛隊が現在使用している固定翼哨戒機P-3Cの後継機となる次期固定翼哨戒機P-1を、平成24年度末までに厚木基地へ配備することを予定しています。このような中、2月15日、山本達夫防衛省南関東防衛局長が本市を訪れ、大木市長に対して厚木基地へのP-1配備とその必要性、また同機の安全性や静粛性などについての説明をしました。

これを受け大和市長は、今後の対応について協議するため2月18日に臨時総会を開催しました。

厚木基地の問題は、外交や防衛など日々刻々と変化する国内外の情勢と深い関係にあります。

市では、そうしたさまざまな動きを注視し、市民や議会の意見などを踏まえながら、市民の負担軽減につながるよう、国や米軍に働きかけるなど基地問題の解決に向けて取り組んでいきます。

厚木基地対策課基地対策担当  
電話(2660)5310 FAX(2660)5316